


















Table with columns for classification (組織・公正な取引, 労働・人権), No., Check Items, Basic/Challenge, Specific Measures, and 17 SDG target indicators.

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・環境方針を定め従業員に周知している。 ・環境関連法規の認識と遵守に取り組んでいる。 ・化学物質の安全性に関する情報伝達のため、MSDS(化学物質安全データシート)により管理している。 ・産業廃棄物管理票(マニフェスト伝票)により廃棄物の種類・量を把握し、適正な処理を行っている。 ・グリーン宣言を取得している。			3.9							11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・エネルギー使用量(電気・ガソリン・LPG)を記録している。 ・エネルギー使用量削減に取り組んでいる。 (節電) ・照明・休憩時間の消灯。社屋内の照明の間引き。人感知センサーの導入により、消し忘れを防止している。 ・OA機器(パソコン、コピー機等)・省電力に設定している。 ・エアコン・フィルターの定期的な清掃を行なっている。 空調の適正な室温管理(冷房27度程度、暖房21度程度)を徹底するため夏季における軽装(クールビズ)、冬季における重ね着等服装の工夫(ウォームビズ)を実施している。 ・デマンドコントロールシステムを導入することで、真夏・真冬のデマンド値を抑えることができ、省エネ及びコスト削減につながっている。 ・蛍光灯のLED化、トップランナー基準をみたしたエアコンへの買い替えを行っている。 ・気泡緩衝材を窓に貼り、部屋の暑さや寒さ対策を行っている。 (ガソリン) ・毎月、車両ごとにガソリン使用量と移動距離を記録し、燃費の認識をさせ、環境に配慮した運転(エコドライブ)を実施している。 ・社用車については、更新時に低燃費車への切り換えを検討している。									7.3				13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・温室効果ガスの排出量を記録し、上記のエネルギー使用量削減の取組みにより、排出量の抑制に取り組んでいる。		2.4								7.2 7.3 7.a		12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境に配慮し、廃棄物の適正な処理を行うことで、生態系の保全に取り組んでいる。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・会議資料のプロジェクト使用・データ配布によりペーパーレス化に取り組んでいる。 ・コピー機はミスコピーを防止するために、使用後は必ず設定をリセットしている。 ・機器/備品の修理等を行い、買い替えを減らしている。 ・ごみの分別を徹底している。(紙・金属缶・ペットボトル・電池・蛍光灯・ガラス等) ・使用済インクジェットカートリッジの回収サービスを利用し、リサイクル活動に貢献している。 ・気泡緩衝材やゴミ袋を再使用している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水の使用量を記録している。 ・手洗い用センサー式自動水栓を設置し、節水に取り組んでいる。 ・トイレ用擬音装置を設置し、節水に取り組んでいる。 ・節水のため、すべてのトイレを洋式化している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・梱包資材やプリンタ消耗品のリサイクル利用を促進している。 ・製品を購入する際は、安易に新品を購入せず、本当に必要なものかどうか熟考したうえで、中古品の検討も行なっている。									9.4		12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4					12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・敷地内の緑化を行っている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・古いエアコンや冷蔵庫等、節電効果のある機器へ買い換えを行っている。									7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5		13.1 13.3					
32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・生態系に影響を及ぼすプラスチックごみを削減するため、エコバックとマイボトルの持参を推奨し、廃プラやレジ袋の使用削減をすすめている。												12.2 12.5		14						
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4		11.2		13.1 13.3							
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●													7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.2	

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
																													
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・ISO9001を取得している。 ・製品・サービスの提供にあたり「品質マネジメントシステム(QMS)」を構築している。 ・品質方針を定め、QMS管理責任者、QMS内部管理責任者を任命し、PDCAサイクルを繰り返しおこない継続的改善を行っている。 ・取引後にお客様にアンケートを送付し、納品物や会社に対する率直なご意見等を伺い、今後の製品づくりや業務改善につなげている。				3.9				9				12.4												
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・社内の掲示物等の文字は、大きな文字で表示するよう心がけている。可能ならばイラストや写真を入れ内容をイメージしやすいように工夫をしている。 ・手洗い用センサー式自動水栓を導入している。 ・共用部分(トイレ・給湯室等)の照明スイッチはセンサー式に交換している。									9.1	10	11.7											17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●											7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15			17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●											7						12.2	13.1			15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		・CSV経営(共通価値の創造)を推進している。 ・「公文書管理事業」を通じて、行政の国民への説明責任を支援している。 ・「デジタルアーカイブ事業(WEBによる配信)」による、情報への公平なアクセスを確保している。 ・「災害アーカイブ事業」による、災害記録を後世へ残し、教訓の伝承による災害に強いまちづくりを支援している。 ・「紙書類電子化事業」=BCPの支援、紙のリサイクルを推進、森林減少を抑制しCO2削減、お客様の生産性向上の実現と労働時間の削減に寄与する。 ・「地図情報事業」を通じて、安心安全なまちづくりを支援している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●													8.2	9.2 9.4			11.a	12.2			14	15		17		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・従業員に対し、地域の活動やボランティアに積極的に参加するよう推奨している。 ・金峰山・有明海の環境の保全と創造に寄付をしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・災害時の避難場所を掲示している。 ・トイレ用の水の備蓄やヘルメット、ランプ等、防災グッズを常備している。 ・台風前には水のタンクを確認し、清掃後満タンに入れかえている。				4								11.5		13.1						16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・「災害アーカイブ事業」を通じ、災害記録を後世に残し、教訓を共有するデジタルアーカイブシステムを作り、減災につなげている。 ・「地図情報事業」を通じ、安心安全なまちづくりを支援している。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1					16	17				
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●		・防災会議や災害発生時(地震・火山・津波・洪水・土砂災害等)の情報集約に活用できる「防災会議用管内パネル(ホワイトボード)」を製作のうえ、販売を促進している。										9			11	12	13.1									
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・社内でSDGsに関する研修や理解度テストを実施している。 ・SDGsのゴールやターゲットについて社内掲示板にはりだし、社員への啓発を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4							8.6		10.2								17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●																							17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●																							17		